初めての植物観察覚書・冬編 R.1年12月8日開催

さすがに12月。だいぶ寒くなってきましたが、この日は天気は快晴、比較的暖かく観察にはありがたい日となりました。皆さん、大変熱心でとても楽しい観察会になりましたね。この日は“食べられるもの”をちょっとしたテーマにしながら観察しました。

さて、噴水の前から歩きだし、今日は植え込みの中のヌカキビから観察を始めます。小川英則さんからイネ科であることなどの解説をいただきました。続いて、建物の中を通り抜け、カスケード途中のフヨウを観察。すっかり実も枯れて、中を開くと毛の生えた種子がたくさん入っていました。その隣では、アキニレがたわわに実をつけていました。とても平たくなっていて、風で散布されるのだと言うことがわかります。傍らにはイヌビワが実をつけていました。この実も夏過ぎには黒く熟し食べることができます。カスケードを登り切ったところには、ヤマモモが生えています。夏に赤い実をたくさんつける徳島の名産品ですね。その隣には、スダジイ（コジイ？）もあって、食べ方などを皆で話しました。森に入るとアオキに実がなっていました。小川彰子さんから特徴について解説をいただきました。鹿が好んで食べるそうです。また、足元にはフユイチゴが実をつけていました。これもおいしいキイチゴですね。竹藪を過ぎると、道の脇にたくさんのミツバが生えています。いつものことですが、数少ない国産ハーブの香りを楽しみます。森の中では、一つの節に葉っぱが4枚付いているキクムグラを見つけました。4つの内の2つは実は葉ではなくて托葉なのだと田中さんからお話をいただきました。さらに山を登ると、また食べられるものを発見。ツワブキです。フキのように炊いて食べるのですが、長岡さんから“愛媛ではスーパーで売っていると聞いた”と紹介いただきました。香川や高知、徳島では食べないようなのですが、愛媛だけ食べるのかな？峠まで登ると、ヒサカキがどっさり実をつけていました。長岡さんが、“誤って味見した所、苦かった”という話をしてくださったので、何人かで味見をします。ちょっと齧った感じでは、意外にも甘い味がしましたね。近くには、ネズミモチが生えていたので、こちらは葉っぱの味見をします、夏はすごい苦さでしたが、今はそれほどでも？峠を越えたところには、大きなカゴノキがありました。板羽さんから名前の由来を伺いました。鹿の子の模様に似ているので、カゴノキ（鹿子ノ樹）と言うのでしたね。

ヌカキビ

フヨウ

イヌビワ

アオキ

カゴノキ

アキニレ

ドングリ．シイではなくおそらくアラカシ．

フユイチゴ

キクムグラ

ツワブキ

ヒサカキ

ネズミモチ

写真撮影：畠谷千幸さん

少し下ると、もじゃもじゃした藪がありました。お正月の飾りにするウラジロです。葉の裏が白いので、夫婦そろって白髪になるまでと言う意味でお飾りにするんだろうと言いましたら、長岡さんから“いや、真ん中に芽が合って、年々それが伸びるので、子孫繁栄の意味があるのではないか”と教えていただきました。さて、モミ等を見ながら森を抜けると、見慣れない形の葉がありました。トケイソウです。その下には、ギボウシの仲間がありました。こちらも、葉を食べることができます。階段を降りていくと、今度シャガがありました。この葉を使って、どちらが表裏？と言うクイズをしました。答えは、見えているところは裏でしたね。イチョウが黄葉して落ち葉が道を覆っていました。ちょうどよいので、この葉を使って脈の走り方を観察します。イチョウの葉は脈が二叉分枝していてとても変わっていましたね。その傍らでは、マメヅタが胞子をつけていましたので、じっくり観察。少し下ったところには、ナガバモミジイチゴがあり、これまたおいしいものだという話をしました。意外に食べられるものが多かったですね。同じところにはヤマノイモやイタドリなど、食べられるものがみられました。坂を下りきったところには、やはり甘い実をつけるヤマボウシがなっていました。ちょっと古くなっていましたが、甘かったでしょう。その後は、噴水前まで戻ってきたのですが、もう一つ最後にアワゴケを観察。とっても小さくて、本当にコケのようでしたが、ちゃんと花も咲かせる顕花植物でしたね。こうして噴水前まで戻り、観察会を終わりました。

ウラジロ

これは何でしょう？

トケイソウ

シャガの観察

イチョウ

マメヅタ

ナガバモミジイチゴ

ヤマボウシ

アワゴケ

写真撮影：畠谷千幸さん

この覚書では、初めての植物観察で見られた植物について、備忘録的に記録に止めています。プリント版は、博物館三階のレファレンスルーム内でも配布しています。また、同じものをホームページ http://museum.tokushima-ec.ed.jp/ibaraki/index.html 上からダウンロードいただけます。なお、この行事では、中級クラス植物観察会他の皆さんに解説その他ご協力を頂いています。ここに記してお礼申し上げます。

お問い合わせは以下まで。
〒770-8070　徳島県徳島市八万町徳島県立博物館　Tel 088-668-3636　ＦＡＸ 088-668-7197
茨木靖（いばらぎやすし）　ibaragi_yasushi_l@mt.tokushima-ec.ed.jp

徳島県立博物館では、学芸員は交代勤務ですので年末年始以外は、誰かが居ります。植物については私が不在の場合、小川自然課長がいれば、ご質問にお答えできます。お気軽に博物館にご連絡ください。メールも大歓迎です。